

監修者 荒木秀一、構成者 上之三郎の特別咆吼対談!

全部暴露する!!

世界を取材し続ける監修者、構成者が
作品の裏舞台を語り尽くす!!

パンチ読者をも
闇金の毒牙が狙っている

上之

までは、お互い、この

よつた面構えをしてるので笑、
読者に自己紹介して、危ない

人物ではないと理解してい
たがうか…(笑)。

荒木 僕は米国政府公認のF
RP連邦捜査官の資格を持つ
ています。賞金がかけられた
犯罪者を追いつめる資格ですね。

この仕事は“スキップ”逃げ
る人間を“トレース”追い
つめる”という事で“スキッ
プトレーサー”と呼ばれます。

上之 までは、お互い、この
よつた面構えをしてるので笑、
読者に自己紹介して、危ない
人物ではないと理解してい
たがうか…(笑)。

荒木 僕は米国政府公認のF
RP連邦捜査官の資格を持つ
ています。賞金がかけられた
犯罪者を追いつめる資格ですね。

この仕事は“スキップ”逃げ
る人間を“トレース”追い
つめる”という事で“スキッ
プトレーサー”と呼ばれます。

だから、僕は現役スッキットレー
サー。風貌はこうですが、人
の道をはする事はしていま
せん(笑)。その関係で、日本
でも逃げた人間を捜してくれ、
という依頼が来ます。もちろん、
闇金などからではないですよ(笑)。

それで、追跡を開始してみると、
捜している人間の陰に闇金関
係者が見え隠れしてくる。実
際にはその実体を知ると、それ
は酷い連中で、見て見ぬ振り
をするわけには行かない。実
体を世に暴こうと思ったのが、実
際修者を引き受けた理由です。

荒木 連載を始めるにあたつ

て強調したいのは、読者の方が
「闇金の被害に遭つのは“特別
な人”」と思っていたら危険だ
という事。一般的に、複数の消
債務者を潰す事だけを考えて
いる。完全に腐りきつています。
で、奴らを叩くなら、ドラマ
が生まれると思ったんですね。
それも主人公が正義感だけで
動くんじゃなく、法律や行政
の仕組みを逆手にとじて闇の世
界をぶつ叩くとすれば、大人
が読んでも満足できるエンタ
テインメントが作れると、構
成者をかつて出たわけです。

上之 そうなんだ。闇金の広
告は、駅のスタンドで売って
いる夕刊紙などに平然と出て
いる。一般的のサラリーマンが
小遣いなどに困った時、大手
消費者金融で借りると誰かに
ばれるんじやないかと思い、
“秘密厳守”なんて広告文句



イラスト・佐藤良治／撮影・梅村博文

「追い込み屋 銀次へスキップトレーサー」新連載開始記念 特別対談企画

南米の人が殺されるシーンを見るのは。
荒木 先進国の人間が殺される所がたまらないらしい。へ
上之 どが出るような話だけ。だから、日本人の“出演料”は高額になるし、需要が高まつてきているつていうんだ。
上之 そんな事、続けさせちゃましい。たかだか数万円で命を落とさなきゃいけないなんて、絶対許せない事だし。

法定金利上限10.9%
こんな国は他にない!!

荒木 まあ、でも、その為には政治家とお役人の意識改革からなされないとダメですよ。
上之 そうなんだよね。闇金稼いでいる奴らはヤクザだけど、そいつらが動きやすくなるように立ち回っているとしか思えない政治家が多数存在する。例えば、出資法の上限金利10.9・5%を引き下げようとする法案。反対する政治家が多数いて却下された。それは大きく報道されたんだけれども、ほとんど認知されていない。

荒木 自己破産者が増えて、利息制限法の上限年利15~18

%, 出資法の上限年利29.2%は理解されてきている。何で2つの法律があつて、上限金利が違うかも、金融業者からの政治献金があるから、出資法で29.2%まで合法にして、金融業者の利便を図っているという事もね。ただ、出資法には特別条項があつて、個人業者の場合は年利10.9・5%まで認めると明記されている。元本が1年で倍になるまでは合法。こんな金利を認めている国、他にないですよ。

上之 だから、小さな消費者金融の多くが個人業者。なんとかファイナンスと看板を出していくても、それは屋号であつて、会社名じゃない。個人事業だ。だから、平然と超高額の利息を吹っかけられる。その合法金利10.9・5%を利用来して、闇金が暗躍しているのに、金利を下げる法案は成立しなかつた。その背景には何があるか、ですよ。

荒木 闇金の背後にはいるのは、暴力団。それに追い風を送るうとしている政治家が多数いる。いかに腐り切った構造になつているか読者の方は大方、想像がつくだろうけど、作品のなかでスバリと表現しましょ。

今、金融界が見える!!
新しい漫画を作る!!

荒木 そう、それに、漫画だから意味があるんじゃないかな。我々が今まで話してきた事、文字で読んでもなかなか頭に入りづらいと思う。漫画のドラマ作りの中で、数字や金融のシステムがどうなっているんだか、世の中の構造にも触れるを得ないでしょう。

上之 そうなつたら、全部、作品の中で洗いざらいぶちまけましょ。真実を!!

荒木 命を狙われてもね(笑)。
上之 大丈夫。オレ達なんだもの(笑)。

荒木 そうだよね。さつき、街中で撮影している時も、歩いている人が“あつ、撮影してる”とか言つて、覗き込んでたけど、みんなスースーいなくなつちゃつたからね(笑)。

上之 まあ、それはそれとして(笑)、これまで金融業界を

構成者 上之三郎

監修者 荒木秀一

うえのじろう ジャーナリスト兼作家。あらきしゅういち 様々な職業を経て79年に上梓した「ドキュメント暴走族」で、現在、スキップトレーサー兼作家。がベストセラーに。現在もアンダーグラウンド世界を取材し続けている。

FRP連邦検査官の資格を持つ、唯一の日本人。



FRP連邦検査官の資格を持つ、唯一の日本人。